

湯の杜ぼっけ（豊富町）

<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/syokoukankouka/lepd6s000004u3o.html>

豊富町産天然ガスによる自家発電で営業時間を拡大し、域内唯一の緊急避難所を開設
～ 24時間トイレ、フリーWi-Fi、ポット・電子レンジやラジオで住民・温泉客の不安を軽減 ～

主な事業	カフェ・特産品販売、多目的イベントスペース賃貸等
発電に使用した燃料	天然ガス（豊富町で産出される天然ガス）
地域への取組	避難者受入、フリーWi-Fi、ラジオ、コンセントの開放等

湯の杜ぼっけは、日本最北の温泉郷として、また、油分を含んだ石油の臭いが特徴の保温効果が高く美肌の湯として知られている豊富町温泉街にオープンした交流施設（平成29年5月1日オープン）。同施設は、カフェ・飲食のほか豊富町の特産品を販売するスペース、休憩や各種イベントに利用できる多目的室、業務用各種厨房機器が備え付けられた農産加工室などの利用が可能。

最も大きな特徴は、温泉とともに産出される天然ガスを活用した停電時対応型の天然ガスコージェネレーションシステムを導入（「農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）※」を活用）して、エネルギーの地産地消を実施していること。

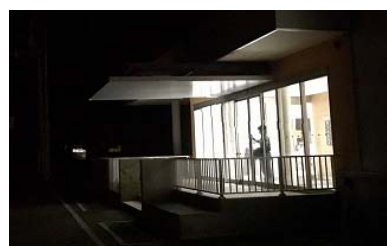
今回の道内全域が停電した9月6日も天然ガスコージェネレーションシステムが稼働し、豊富町温泉街で唯一停電を回避して営業を継続。

さらに、同施設では営業時間を拡大（1時間前に営業を開始し、温泉街が復電するまで営業を継続）して、トイレ・水道・お湯・コンセント・電子レンジ・Wi-Fiなどを無料開放したほか、パソコンとスピーカーでネットラジオの災害情報を館内に流し続けて、温泉街及び周辺町村に対してライフライン（電気・水道）と情報を提供し続けた。

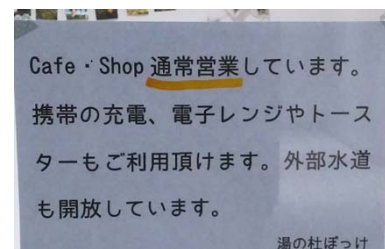
豊富町工藤町長は、「今回の事象に対し、当施設が天然ガスコージェネレーションシステムによる電源確保により、旅行者、湯治客等の安心と、安全確保が図られたことは防災としての施設目的も達成できたこととなり、今後も安全、安心な地域拠点としての充実を図って参りたい。」と話す。



湯の杜ぼっけ



停電時の状況



停電時における掲示

※農山漁村振興交付金については、以下の農林水産省ウェブサイトをご参照ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/shinko_kouhukin.html